

迅速な危険性の伝達で、道路の安全を守る。

エアバルーン逆走警告装置



共同特許取得済 (PAT.No.6441436)

共同特許者：一般社団法人 日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所



逆走
対策

事故
防止

逆走車と順走車の正面衝突を回避

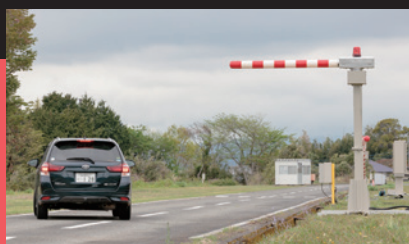
逆走車と順走車の正面衝突が発生するなど、痛ましい事故にもつながりかねない「高速道路での逆走」。現在、逆走事案は年間200件以上発生しているといわれています。そして多くは「インターチェンジ・ジャンクション」から逆走が発生していること、ドライバーの年齢は「65歳以上」が多数を占めていることもわかっています。「エアバルーン逆走警告装置」はそれらの要素を念頭に置き、「物理的」「視覚的」効果で逆走に気づかせることを目的とした装置です。



POINT

1

エアバルーンによる物理的警告



センサーにより逆走車を検知すると、逆走車の前にエアバルーンを展開。物理的な障害を道路上に配置することで、逆走車の減速・停止を促します。

POINT

2

多彩な工夫を施し視認性アップを実現

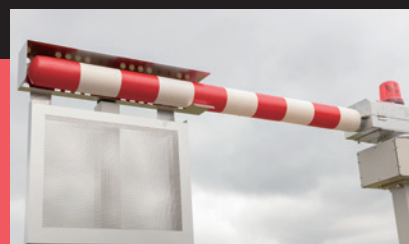


視認性の高い赤色のエアバルーンの先端には、進入禁止の垂れ幕を装着。バルーン部も、目を引く内照式としています。

POINT

3

軟らかなバルーンでダメージを最小限に



エアバルーンの素材は軟質材を採用。逆走車がバルーンに接触してもドライバーへのダメージを最小限に留めます。

エアバルーン逆走警告装置

事故防止



過剰反応を防ぐ動作速度

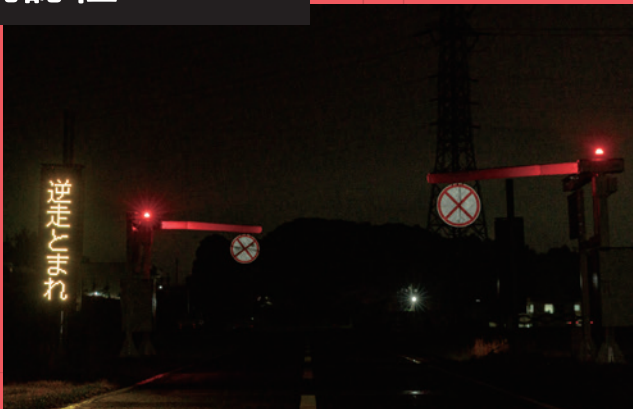
センサーが逆走車を検知すると、エアバルーンが動作し道路上に展開されます。このときの展開スピードは「2秒」とあえてゆっくりな動きに設定。逆走車や順走車のドライバーがエアバルーンに驚いてハンドル操作を誤ったり、急ブレーキを踏んでしまわないよう配慮しています。



正面衝突を回避するバルーン配置

設置するエアバルーンは、逆走車・順走車それぞれが「自分から見て車線の左側」に避けやすくなっている配置。回避の方向を誘導することで、正面衝突という最悪の事態を防ぎます。

視認性



判別しやすいエアバルーン

エアバルーン本体は赤色かつ内照式で、日中でも夜間でも視認性は良好です。加えてバルーン先端には進入の禁止垂れ幕を吊り下げ、装置上部にも赤色回転灯を設置。見落としを防ぐための施策をいくつも重ねることで、走行するドライバー全員に、一秒でも早く異変を知らせることを狙っています。

LED表示器で文字情報を伝達

エアバルーンの設置された逆走警告装置の手前には、LEDを利用した表示器を設置。逆走車側には「逆走とまれ」、順走車側には「危険とまれ」と表示し、停車を促します。



ダメージ軽減



軟質性素材で万が一の接触にも配慮

エアバルーン本体は軟質性の素材を使用しています。そのため展開されたエアバルーンに接触してしまった場合にも、車や運転しているドライバーへのダメージを抑えることが可能です。



順走車視点



逆走車視点

動画による説明、詳しい仕様はホームページをご覧ください。

